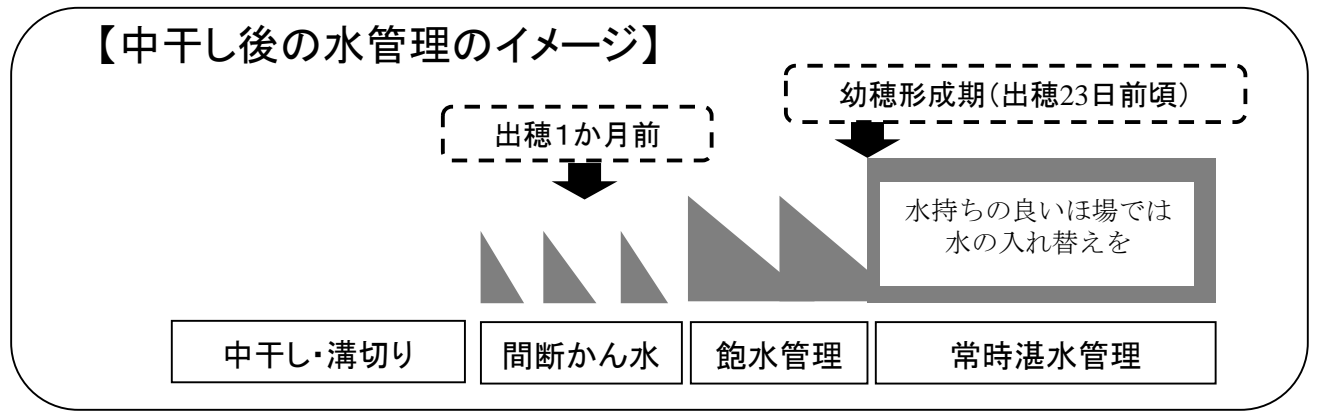


出穂1か月前から水をかけましょう！

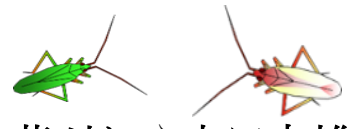
出穂期は昨年並みに早まることが予想されます。

1 中干し終了後の水管理

- 急な湛水は根を傷めます。中干し終了後は、間断かん水から飽水管理、常時湛水管理と徐々に移行しましょう。
- 特に幼穂形成期(出穂23日前)からは、常時湛水管理を行いましょう。
- 降水量が少ない状態が心配される場合は、地域内・農家間で協力し、地域全体として効率的に農業用水を使用しましょう。



2 カメムシ、いもち病対策



- カメムシ対策のため、農道・畦畔の草刈りや水田内雑草(ヒエ、ホタルイ) 防除を徹底しましょう。
- ※水路法面作業では刈草を用水や河川へ流さないようにしましょう。
- 生育過剰のほ場やいもち病に弱い品種では、いもち病の発生に注意しましょう。

こまめな水分補給で、熱中症を予防しましょう。農作業事故に気を付けましょう。

不明な点は農協営農センターまたは普及センターまでおたずねください。携帯メール会員募集！営農センターへお問い合わせください。